

6

| 公式観光ガイド 2026

グレバン博物館

パリ・〜から 28€

<https://grevin-paris.visit-tickets.com/ja/>・優先入場チケット & 公式料金



歴史 & エクスペリエンス

起源と歴史

蠟で刻まれた生きた歴史

GOOGLE **4.4** ★★★★★ 33 489 レビュー

TIQETS **4.5** ★★★★★ 3 073 レビュー

1882年6月5日、新聞『ル・ガロワ』の編集長だったアーサー・マイヤーは、読者が紙面上で知る人物に「顔」を与えたいという野心から、この博物館を設立しました。当時写真がまだ普及していなかった時代、彼は彫刻家アルフレッド・グレバンと協力し、蠟細工によって著名人たちの姿を永遠に残すという革新的なプロジェクトを開始します。開館からわずか5ヶ月で50万人以上の来場者を集めたこの成功は、単なる展示ではなく、パリ市民にとっての新しい娯楽として急速に定着したことを示しています。

博物館の起源は、より古い伝統へと遡ります。17世紀には王室の死後、その面影を残すための蠟製死亡仮面を作る習慣があり、これは宮廷芸術の一つとして発展していました。特にアンソワン・ベノワによるルイ14世の仮面は有名で、王妃マリー・テレーズの周辺人物を含む「蠟キャビネット」展覧会の先駆けとなりました。その後、フランス革命期にマリー・トゥッソーがマラやロベスピエールなどの死者の顔を型取りした経験は、ロンドンでのマダム・トゥッソー蜡像館設立につながり、パリの蠟像文化に影響を与えました。

しかし、19世紀のパリでは複数の蠟像博物館が試みられましたが、長続きしませんでした。ハートコフ博物館やジュール・タルリーシュによるフランス博物館など、解剖学的な正確さや文学的キャラクターを描く試みはありましたが、商業的な成功には至りませんでした。アーサー・マイヤーの真の革新性は、時事ネタを取り入れた点にあります。彼らは歴史的人物だけでなく、現代の政治家、芸術家、スポーツ選手などを次々と展示し、訪問者が自分たちの時代の英雄たちと直接対話できるような空間を作り出しました。

建物の装飾自体もまた、生きた歴史の一部です。ドームの間（サール・ド・クーポル）や柱の間（サール・デ・コロヌ）には、**1882年**のバロック調装飾がオリジナルのまま保存されています。シャンデリア、フレスコ画、そして豪華な柱廊は、単なる背景ではなく、歴史的ドラマが上演される舞台のような役割を果たしています。これらの空間は、蠟人形たちが息づき、訪れる人々を過去の世界へと誘う魔法の箱であり、建築美と展示物が完璧に融合した稀有な例となっています。

体験

博物館の入口をくぐると、まず目に入るのは壮麗なバロック風の装飾です。金色に輝く柱や天井のフレスコ画が、訪れる者の心を瞬時に19世紀末のパリの華やかな世界へと引き込みます。光がシャンデリアから降り注ぎ、蠟人形の表情に命を吹き込むかのように、静寂の中に漂う緊張感があります。ここでは、時間が止まったような独特の雰囲気を感じ取ることができ、歴史の重みと現代的なエンターテインメントが奇妙にも調和しています。

進むにつれて、視覚的な驚きが連続して待ち受けます。ミラージュ宮殿では、錯視を用いたトリックアートが現実と幻想の境界を曖昧にし、巨大化したり浮遊したりする体験を通じて、遊び心あふれる冒険が始まります。歴史的再現シーンでは、ルイ16世の監禁やジャンヌ・ダルクの火刑台といった緊迫した瞬間に立ち会ったかのような没入感を得られます。各展示室は独立した物語を持ち、訪れる者はまるで映画のセットを巡るかのように、多様な感情と知的好奇心を刺激されるでしょう。



訪問の準備

実用的な情報

住所

第9区 ・ 地下鉄：モンマルトル駅（4号線、徒歩2分）またはカデ駅（4号線、徒歩5分）

営業時間

毎日10:00～18:00。季節や学校休暇により変動します。来場前に公式サイトでご確認ください。

料金

大人：27.50€、子供（4-17歳）：19.50€、3歳未満無料。年間パスあり。プロモーションコード AVYGEO7（-7%）。

所要時間

ペースや写真撮影の停止回数に応じて、完全な見学には1時間30分から2時間を計画してください。家族や歴史愛好家はミラージュ宮殿でさらに時間を過ごすことができます。

写真撮影

写真撮影は全域で許可されています（特定の区域、例：グレバン劇場を除く）。ミラージュ宮殿とドームの間は、蠟人形とのセルフィーに理想的です。

対象客層

家族、友人グループ、カップル、好奇心旺盛な観光客に最適です。18歳までの子供は特別の日（キッズデー）を利用できます。シニアと学生は割引料金があります。

LOCALISATION

Où se trouve グレバン博物館？



📍 10 Boulevard Montmartre – 75009 パリ

 48°52.310' N, 2°20.533' E



組織

効率的な見学ルートガイド

レベル1：歴史的再現とバロクロール

入り口付近には、柱の間（サル・デ・コロヌ）があり、1882年のオリジナル装飾が施されています。ここからはフランス史の重要な瞬間を再現した蠟人形シーンが続きます。ルイ16世のテンプレ監禁やジャンヌ・ダルクの火刑台など、細部まで忠実に作り込まれた展示が、訪れる者に強い印象を残します。

レベル2：ミラージュ宮殿と現代のスター

上層階には、錯視を利用したインタラクティブなアトラクション「ミラージュ宮殿」があります。ここでは巨大な自分自身を見たり、空中を浮遊したりする体験ができます。また、マイケル・ジャクソンやアルバート・アインシュタインなど、20世紀以降の著名人たちの蠟人形も展示されており、歴史と現代が交差する空間となっています。

レベル3：ドームの間と特別展示

最上部には、美しいドームを持つサル・ド・クーポールがあります。自然光が差し込むこの空間は、蠟人形とのセルフィーに理想的な場所です。定期的に更新される特別展示や、最新のトレンドを反映した新しい人物の紹介も行われており、毎回違った楽しみ方が可能です。

アクセシビリティ

車椅子アクセス

エレベーターと対応トイレを備え、車椅子利用者のアクセスに対応しています。

ファミリー向け

家族連れに最適：キッズデー、子供向けアクティビティ、インタラクティブな装飾。

オーディオガイド

フランス語, 英語, スペイン語



必見スポット

選 択

見逃せない絶景と名場面

01

ミラージュ宮殿

ミラージュ宮殿

光学効果を活用したトリックアートエリアで、訪れる者は自分自身の姿が変形したり浮遊したりする不思議な体験ができます。錯視を用いたインタラクティブな展示は、子供から大人まで楽しめる魅力的なスポットです。

💡 このエリアは、科学と芸術の融合を示す素晴らしい例であり、多くの観光客が写真撮影のために時間を費やします。

02

歴史的再現ルーム

ジャンヌ・ダルクの火刑台

フランスの民族的英雄であるジャンヌ・ダルクが火刑に処される瞬間をリアルに再現した展示です。蠟人形の表情や衣装の細部までこだわりがあり、歴史的緊張感を肌で感じることができます。

💡 このシーンは、博物館創立以来長く愛され続けてきた象徴的な展示の一つです。

03

歴史的再現ルーム

ルイ16世の監禁

フランス革命期の暗黒時代を象徴する、ルイ16世がテンプレ牢獄に閉じ込められる様子が描かれています。陰鬱な照明と狭い空間が、当時の苦難を伝えるように設計されています。革命の悲劇を深く理解するのに最適な展示です。

💡 実際の牢獄の寸法を参考にして作られており、歴史的正確性を重視しています。

04

現代スターズルーム

マイケル・ジャクソン

ポップスの王として知られるマイケル・ジャクソンの蠟人形は、彼の伝説的なパフォーマンスポーズで展示されています。衣装や小道具まで本物そっくりで、音楽の力を感じさせる魅力的な存在です。

💡 世界中のファンがこの像の前で写真を撮っており、博物館の人気スポットの一つです。

05

科学者コーナー

アルバート・アインシュタイン

相対性理論で有名な物理学者アインシュタインの像は、彼の特徴的な乱れた髪と思索的な表情が再現されています。科学への情熱と好奇心を表現しており、知性の象徴として多くの人々に親しまれています。

💡 彼の思考プロセスを可視化したような展示構成になっており、教育的な価値も高いです。

06

ドームの間

ドームの間（サール・ド・クーポル）

1882年のバロック調装飾がそのまま残る壮麗なホールです。天井のフレスコ画とシャンデリアが織りなす美しさは圧巻で、建築の芸術そのものを堪能できます。蠟人形との写真撮影にも最適な光環境を持っています。

💡 この空間は、博物館創立当時の雰囲気を最もよく残している場所として評価されています。

07

柱の間

柱の間（サール・デ・コロヌ）

黄金色の柱が並ぶ格式高い部屋で、歴史上の重要人物たちが展示されています。バロック風の装飾が施された壁面や床が、権威と栄光を感じさせる空間を演出しています。

💡 初期の展示スペースとして使用され、現在でも核心的なエリアの一つとなっています。

08

グレバン劇場

グレバン劇場

ライブパフォーマンスが行われる専用劇場で、演劇やコンサートなどが開催されます。展示とは別に、生の芸術に触れることができる貴重な場所です。予約が必要な場合もありますが、特別な体験を提供します。

💡 1882年以来続く伝統的なエンターテインメントの場であり、博物館の多様性を示しています。

アドバイス

快適な訪問のための秘訣

TIMING

混雑を避けるため、開館直後の10時～11時の時間帯を予約してください。学校グループは11時半以降に到着するため、スムーズな見学が可能です。

BILLET

繁忙期や週末は必ずオンラインで事前予約しましょう。プロモーションコードAVYGEO7を使えば7%割引になります。

PARCOURS

柱の間から始めて、歴史的再現エリアを経てミラージュ宮殿へ向かう論理的な動線に沿って進みましょう。往復を防ぎ、時間を最適化できます。

PHOTO

ミラージュ宮殿とドームの間は、蠟人形とのセルフイーに理想的です。自然光が良く、バロック調の背景が写真を引き立てます。

PAUSE

博物館内での飲食は禁止されているため、徒歩5分のカフェ・ド・ラ・ペーヌで軽食を取ることをおすすめします。テラス席でパリの雰囲気を楽しめます。

ENFANTS

18歳以下の子供向けに「キッズデー」があります。アクティビティ付きで楽しいので、少なくとも3日前に予約して席を確保しましょう。

AUDIOGUIDE

公式サイトからミラージュ宮殿向けのオーディオガイドをダウンロードできます。錯視の仕組みを理解しながら楽しむのに役立ちます。

CONFORT

歩きやすい靴を履いてください。展示室は広いので、快適な服装で訪れることをお勧めします。コートロッカーもあります。



よくある質問

よくある質問

グレヴィン博物館のチケットは事前に予約する必要がありますか？

はい、繁忙期（7月～8月、学校休暇期間）や週末には強く予約をお勧めします。休暇以外の平日であれば窓口で購入することも可能ですが、平均して30～45分の待ち時間を見込んでください。行列を避けるためには、少なくとも24時間前にオンラインで予約してください。

子供や学生向けの割引料金がありますか？

はい、4歳から17歳の子供は割引料金（19.50€）が適用されます。学生、シニア（65歳以上）、障害のある方にも割引があります。4歳未満は無料です。正確な条件については公式サイトでご確認ください。

グレヴィン博物館の特別オファーやプロモーションコードはありますか？

はい、時折プロモーションコードが利用可能です。例：AVYGE07（7%割引）。予約サイトまたは公式サイトでオファーを確認してください。プロモーションは通常、期間限定およびチケット数限定です。

グレヴィン博物館の年間パスを購入することはできますか？

はい、年間パスは購入日から365日間の無制限アクセスを提供し、同伴者用のチケットに対して50%の割引が付きます。家族や再訪客に理想的です。オンラインまたは現地で購入可能です。

グレヴィン博物館の見学にはどのくらい時間がかかりますか？

ペースや写真撮影の停止回数に応じて、完全な見学には1時間半から2時間を計画してください。家族や歴史愛好家は、歴史的再現や第9区のパロック調の展示空間を探索する場合、さらに時間をかけることができます。

ご存知ですか？

エピソード & トリビア

最初の5ヶ月で50万人

博物館が開館してからわずか5ヶ月で50万人の訪問者を集めました。これは、当時のパリ市民にとって全く新しい娯楽であったことを示しており、社会的な現象とも言える大成功でした。

マダム・トゥッソーの影響

創設者たちは、ロンドンのマダム・トゥッソー蜡像館に影響を受けていました。しかし、時事ネタを取り入れることで、現代的なアプローチを採用し、独自の進化を遂げました。

アニメーションの起源

1892年、エミール・レイノーによるアニメーション映画『貧しいピエロ』がここで初めて公開されました。これはアニメーション史における重要なマイルストーンであり、博物館の革新性を示しています。

定期的な更新

展示物は常に更新されており、新しい人物が加わる一方で、古い人物は撤去されます。これは博物館が生きている場所であることを意味し、時代の変化を反映し続けます。

博物館周辺

博物館は第9区を中心、モンマルトル通りに位置しており、周辺にはパリの文化的宝庫が点在しています。訪問後は、徒歩圏内にあるカフェ・ド・ラ・ペーヌでテラス席を楽しみながら、オスマン様式の街並みを眺めるのがおすすめです。さらに数分歩けば、バロック様式の傑作であるガルニエ宮に到着し、その壮大な外観や内部の豪華さを鑑賞できます。活気あるモンマルトル通り沿いには劇場やショップが並び、パリの日常的なエネルギーを感じることができます。夕方には、オペラ広場を望むレストランで洗練されたフランス料理を味わうのも、充実した一日の締めくくりになります。



グレバン博物館は、単なる蠟像の集まりではありません。それは生きた歴史の劇場であり、過去の偉人たちと現代のスターたちが共存するユニークな空間です。訪れるたびに新しい発見があり、異なる視点から歴史や文化を見つめ直す機会を提供してくれます。ぜひ、このパリの宝石を自分の目で確かめ、蠟の人形たちが語る物語に耳を傾けてみてください。